

令和7年度 年間授業計画

東京都立大泉高等学校附属中学校

教科名	技術・家庭 家庭	対象学年	3年	週時数	0.5
使用教科書	「開隆堂」技術・家庭 家庭分野	教科担当	技術・家庭 家庭科 宮武 紀加		
副教材	「東京書籍」学習ノート				

授 業 計 画

目標	授業の年間	* 生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と家庭とのかかわりあいについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。							
主な学習内容	学期	月	単 元	学 習 内 容	配当時間	進捗・理解 評価	主体的に学習 に取り組む 態度	知識・ 技能	学 習 の 到 達 目 標
	1 学 期	4 ・ 5 ・ 6 ・ 7	ガイダンス	・家庭科について ・安全について	6	○	○	○	・一年間に学習する内容を理解する
			A 家族・家庭生活	・わたしたちと家族・家庭と地域 ・幼児の生活と遊び					・家庭には様々なはたらきがあることを理解する。 ・家族の生活は家庭内外での活動に支えられていることに気付く。 ・家庭生活と地域とのかかわりについて理解する。 ・自分の成長を振り返り、幼児期の特徴を理解する。 ・幼児の体や心の発達の特徴を知る。 ・幼児の生活の特徴を知り、家族の役割について理解する。 ・子どもの成長と地域とのかかわりについて理解する。 ・幼児の遊びとその発達の特徴に気付く。 ・幼児の遊びを支える道具やおもちゃを知る。
	2 学 期	9 ・ 10 ・ 11 ・ 12		・お話作り ・子どもの健やかな成長のために ・布を用いたものの製作	8	○	○	○	・幼児の年齢や発達の特徴を考え、お話を作る。 ・子どもの健やかな成長のための権利や法律の大切さがわかる。 ・子どもを育てる環境や地域や子どもの発育について考える。 ・アイロン温度を適切に設定し、安全に使うことができる。 ・自分や家族の生活を豊かにするものを考える。 ・個性を表現する。
			・3年間の振り返り	3.5					○
3 学 期	1 ・ 2 ・ 3				17.5				

評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・製作手順を理解し、製作を行っている。 ・子どもの成長や家族のやくわりなど基礎的な知識を理解している。 ・安全面を考慮し、班で協力して作業をすることができる。 ・自らの生活を振り返り、知識や技術を実践しようとしている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察、出席点 ・ノート、プリント ・定期考査、製作物 ・作品、器具等の使用方法